

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床心理学		選択	2	2,3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
高田 毅	B301	t.takada		木曜日 13:00~14:30	
授業の目的・概要	<p><目的>ソーシャルワーカー、心理師の別を問わず、対人援助に必須な臨床心理学的理論、態度、技術の基礎を学ぶことが目的である。自らの体験を積極的に対人援助に生かすことも目標である。</p> <p><概要>心理面接、心理査定、地域援助、調査・研究の4領域を理解する。国家資格として創設された公認心理師についても触れる。また、専門家の訓練体験を通して、対人援助の基礎を学ぶ。</p> <p>課題学習、同時双方向授業で授業を展開する。課題学習では基本となる理論をpushし、そのまとも学習などを行う。同時双方向授業では事例の検討や体験学習を中心にオンライン上での意見交換を展開し、臨場的な見方や考え方を検討し深める。</p>				
学習上の助言	<p>オンラインディスカッションが多いので、積極的に参与すること。</p> <p>講義中の質問・疑問・関心・感想はその都度発言し、授業内で消化すること。</p> <p>体験は人それぞれなので、自分の固有の体験に正直になり、学びにすることが重要である。</p>				
教科書	レジュメを配布する。				
参考書	臨床心理学概説/著：田中富士夫/北樹出版 公認心理師の基礎と実践 第3巻 臨床心理学概論/編：野島一彦・岡村達也/遠見書房				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	自らの体験を踏まえた、対人援助の技術方法を検討し考察できる。			心(1)	
②	臨床心理学における歴史、4領域について理解し、説明できる。			心(2)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。心理と福祉の領域の異同を理解する。 心理と福祉の領域の異同を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
2	臨床心理学の歴史について学ぶ。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
3	臨床心理学、臨床心理士、公認心理師とは何かを理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
4	臨床心理査定の基礎:面接査定と心理検査の基礎を理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
5	臨床心理面接の基礎:初期過程の事例を用いて理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
6	臨床心理地域援助:市民プログラムの事例を通して理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
7	危機介入の基礎:危機状態と通常面接の違いを理解する。	課題送付・提出・フィードバック	レジュメなどを読み課題に沿って理解をまとめて提出する。	3	
8	調査・研究の基礎:現代的問題の同定を行う。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
9	集団精神療法の基礎:集団処方との区別と集団力動を理解する。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
10	専門家になるための訓練体験①応答構成法を体験する。意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
11	専門家になるための訓練体験②応答構成法を理解する。意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
12	専門家になるための訓練体験③応答構成を分析し、自分の特徴を理解する。応答の可能性を分析する。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
13	専門家になるための訓練体験④応答構成をまとめる。意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。	3	
14	教育分析と専門家としてのキャリアパスを学ぶ。 意見交換とフィードバックを行う。	同時双方向型授業	事前にレジュメを読み、授業後にコメントシートを提出する。 レポートの作成と提出。	18	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科/旧カリキュラム】

15	まとめとフィードバック。まとめの意見交換とレポートについてのフィードバックを行う。	同時双方向型授業	授業後にコメントシートを提出する。	3			
試							
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	10	20
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	理解度を問う応用問題や事例の分析、体験から学んだことのフィードバックから構成される。知識を用いて思考、表現ができているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。			15 回目にレポートを返却し、解説とフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後に本日の学びなどを Microsoft Teams の課題機能を用いて提出する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2 点×15 回=30 点)			コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。 必要に応じて次回の授業で補足する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行います。</p> <p>課題ダウンロードなどを行いますので授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励します。</p> <p>尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあります。</p> <p>教員の実務経験：臨床心理士として 12 年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：ミニワークを数多く取り入れ、ディスカッションを軸に授業を展開する。その際にグループセラピィの技術を活用する。個人情報に配慮しつつ、事例などを用いて体験から学ぶことを促す。</p> <p>授業に参加し、体験から学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。</p> <p>2020 年度は現行カリキュラムの専門科目として開講される最後の回である。</p> <p>2021 以降は新カリキュラムに対応し専門基礎科目として、内容が変更される予定である。</p> <p>その点を踏まえて履修を検討すること。</p>							